

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	まちづくり推進施設運営事業			
予算科目	7 款 1 項 6 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 商業の振興			
所管課情報	担当課: 経済雇用戦略課			電話番号(内線): 572
記入者情報	所属長: 靄岡 正直		担当責任者: 大谷 基文	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	JR伊予市駅前街の交流拠点『町家』管理運営事業			
根拠法令等	JR伊予市駅前街の交流拠点施設条例、(同)条例施行規則			
事業の目的	市民や伊予市を訪れる玄関口であるJR伊予市駅前に交流の場として、また、観光情報・地域情報発信拠点として「思いやりの手づくり交流市場」「まちづくりサロン」の大きな役割を果たしながら、中心市街地の活性化を図る。			
事業の内容	JR伊予市駅前街の交流拠点『町家』を核とした商店街の賑わいの回復と中心市街地の整備改善を行う。* 特産品の販売(地場産業の特産品の展示販売、鮮魚活魚販売、農林産物の即売)* 新規創業者育成テナントでの開業* 公園広場にて各種イベントの開催			
改善策の具体的な取り組み(当初)	施設の指定管理料の見直しを行う。			
改善策の具体的な取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	7,284	8,732	3,820	7,641
	人件費	2,033	1,590	397	1,590
	合計	0	10,322	4,217	9,231
人件費内訳	人工数	0.25	0.20	0.10	0.20
	人件費単価	8,135	7,954	3,977	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	2,033	1,590	397	1,590
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	9,317	10,322	4,217	9,231

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
施設管理委託料	千円	7090	6,381		6563
「町家」レジ通過客数	人	277112	280000		285197

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	8,000	8,000	8,000	0	0	24,000

成果指標				
成果指標	JR伊予市駅前街の交流拠点『町家』におけるレジ通過客数による集客率の確認。			
指標設定の考え方	交流と情報発信拠点である「町家」に足を運んでくれ、しかも何らかの商品の購入してくれた来客者の数により、中心市街地の活性化に貢献できた指数の参考とする。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標22年度
目標	275000	280000	0	0
実績	277112	285197	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	平成19年度より黒字経営を続けており、平成26年度は指定管理料の見直しにより減額措置を行った。施設オープンから11年がたち施設及び設備の経年劣化等による修繕及び取替が多くなってきており、長期計画的に対処していくよう指導していく。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	施設及び設備の経年劣化等が問題となっており、計画的な対応が必要である。また、黒字経営により、指定管理料を減額したところであるが、拠点施設としての機能強化や、本施設の目的である創業者支援の役割について、検討が必要である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題